

肺炎球菌ワクチンの説明書

商品名：ニューモバックス/プレベナー13

■病気について

- ・肺炎は死因の第3位です。肺炎による死亡者の95%は65歳以上の高齢者です。
- ・肺炎の原因で最も多い30%が肺炎球菌です。
- ・インフルエンザ罹患後に肺炎球菌性肺炎が増加することが知られています。
- ・肺炎球菌ワクチンは抗菌薬耐性菌にも有効です。

■診断と治療

- ・全身状態やレントゲン・CTなどで肺炎を疑い、痰や血液検査も併せて診断します。
- ・治療として抗菌薬投与と全身管理を行います。

■予防方法

- ・手洗い、うがい、マスクの着用、人混みを避ける。口腔内を清潔に保つ。
- ・ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

- ・65歳以上でワクチンを受けていない、もしくは受けたかどうかはつきりしない人。
- ・前回の接種から5年以上経過している人。
- ・2～64歳で心不全、COPD、糖尿病、アルコール依存症、慢性肝疾患、脊髄漏の人。
- ・易感染性患者（HIV感染者や白血病、Hodgkinリンパ腫、多発性骨髄腫、悪性腫瘍、慢性腎不全、ネフローゼ症候群、ステロイドなど免疫抑制療法を受けている人。
- ・2歳以上の脾臓摘出者には保険が適応されます。

■ワクチンについて

- ・ニューモバックス、プレベナー13ともに国内ワクチンです。
- ・60～64歳でリスクのある人や65歳以上の人はニューモバックス定期接種の対象です。
- ・米国予防接種諮問委員会（ACIP）はプレベナー13→ニューモバックスの順で両方を、半年～1年の間隔をあけて接種することを推奨しています。
- ・プレベナー13は65歳以上で1回接種です。
- ・プレベナー13を接種しても、ニューモバックス定期接種の公費補助を受けられます。
- ・プレベナー13は細胞性免疫を刺激して、長期間の免疫が期待できます。
- ・ニューモバックスには細胞性免疫を刺激する効果はなく、5年毎の接種が必要です。

| | ニューモバックス(国内ワクチン) | プレベナー13(国内ワクチン) |
|--------|--------------------------|-----------------|
| 【製造会社】 | MSD(Merck Sharp & Dohme) | ファイザー |
| 【適応年齢】 | 2歳以上。 | 65歳以上。 |
| 【接種回数】 | 1回。 | 1回。 |
| 【接種方法】 | 皮下及び筋肉注射。 | 筋肉注射。 |
| 【持続期間】 | 5年。 | 一生に1回接種。 |

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。
発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。